

〔派遣〕

派遣研究者	東京大学 情報理工学系研究科 博士課程 グエン タン ヴィン	2022104
研究集会名	IEEE SENSORS 2012	
出張期間	平成 24 年 10 月 27 日～平成 24 年 10 月 31 日	
開催場所	台湾 台北市	
発表論文	Measurement of Pressure Distribution during the Onset of Slip 滑り発生時における圧力分布の計測	

概要：

国際会議参加の目的・意義：

国際会議 IEEE SENSORS 2012 に参加した目的はすべりの発生時に接触面の圧力分布の計測に関する研究成果を発表することであった。また、発表により成果を広く周知するとともに、学会参加者との意見交換から研究に活かされる知見を得ることも目的であった。研究者たちとのディスカッションにより得られた知見は、研究課題に対する解決策を模索する上で、また自分自身の研究を客観的に分析する上で非常に重要となる。また、他の研究者の発表を聞くことにより、自分の知識を深め、より良質の研究活動につながると考えられる。

IEEE SENSORS はメカニカル、バイオ、化学など様々な分野に応用できるセンサに関する最新研究が発表されている。この学会の参加者は大学などの研究機関の研究者だけではなく、企業の専門家も多い。そこで自分の研究発表を行うことにより、色々な分野の専門家からコメントやアイデアをもらうことができ、今後の研究課題を解決するために非常に役立つ経験である。

得られた成果：

IEEE SENSORS 2012 において、私は滑りにおける圧力分布の計測に関する研究発表を行い、研究の成果が高く評価された。具体的に、滑りの現象を解明するための圧力センサそのものに関して注目され、様々なコメントやアドバイスを得た。計測目的に応じてセンサの構造や計測手法の改善案も提案され、今後の研究を継続するために非常に役立つと考える。特に圧力だけではなく、今後は圧力・せん断力の両方の計測を実現することを強く期待された。

また様々なセンサに関する最新研究の発表を聞くこともできた。自分の専門分野である力センサだけではなく、世界中で注目されているガスセンサ、バイオセンサに関する研究発表の知見を得ることができた。